

第15回 公開研究会

丸山眞男以後の日本政治思想史研究(1)

参加無料

対面開催

事前申込制



【報告者】

須藤健一氏

「橋川文三の戦後精神史」

福井優氏

「柳田国男と丸山眞男のあいだ」

【討論者】

川田稔氏

【開催概要】

日時：2026年6月27日（土）14:00-16:00頃

会場：東京女子大学24号館2階24202教室

参加費：無料（事前申込制）



参加申し込み

第15回 公開研究会

[詳細情報]

概要

本年は丸山眞男没後30年にあたります。丸山が残した知的遺産を継承し、さらに発展させる道を探るべく、丸山から思想的な刺激を受けながら、独自の思索を生み出した、橋川文三と神島二郎について議論します。

登壇者プロフィール

報告者

須藤健一（すとう・けんいち）氏

報告主題：「橋川文三の戦後精神史——「日本の不謬ならざる法皇」丸山政治学との緊張的関係を中心として」

京都大学博士

専門は、日本政治思想史、公共政策。主な著作は、『橋川文三の政治思想——三島由紀夫・丸山眞男・柳田国男との思想的交錯』（慶應義塾大学出版会、二〇二四年）（第19回日本思想史学会奨励賞（書籍部門）受賞）。



報告者

福井優（ふくい・ゆう）氏

報告主題：「柳田国男と丸山眞男のあいだ——神島二郎『近代日本の精神構造』の成立過程に着目して」

立命館大学衣笠総合研究機構間文化現象学研究センター客員協力研究員

専門は戦後思想史。主な論文は、「神島二郎の異端論：初期の「正統と異端」共同研究との関わりを中心に」（『立命館大学人文科学研究紀要』144号、2025年）「「触感」と「人心」：神島二郎の戦後デモクラシー論」（『日本思想史研究会会報』36号、2020年）。「70年安保とベ平連：『週刊アンポ』を中心に」（『立命館平和研究』21号、2020年）ほか。

討論者

川田稔（かわだ・みのる）氏

名古屋大学名誉教授

専門は日本政治史、日本政治思想史。主な業績は、『柳田国男の思想史的研究』（未来社、1985年）、『原敬と山県有朋—国家構想をめぐる外交と内政』（中央公論新社、1998）、『柳田国男：知と社会構想の全貌』（筑摩書房、2016年）、『武藤章：昭和陸軍最後の戦略家』（文春新書、2023年）。

アクセス情報

所在地

〒167-8585

東京都杉並区善福寺2-6-1

交通

- 中央線・総武線「西荻窪」駅北口よりバス約5分
- 中央線・総武線「吉祥寺」駅南口よりバス約10分



お問い合わせ

主催

東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センター
事務局

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1

TEL：03-5382-6817 FAX：03-5382-6120

MAIL：maruyamabunko@gr.twcu.ac.jp

事務取扱時間：火・水・木（10:30～16:30）